

No. 567
2018年
10月

OR学会だより

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F
電話 (03) 3851-6100 Fax (03) 3851-6055
<http://www.orsj.or.jp/>

● 日本OR学会各賞の候補ご推薦のお願い

本学会では、業績賞、実施賞、普及賞、研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞、論文賞、学生論文賞を設定し、それぞれの分野で顕著な成果・業績を挙げられた個人や企業を表彰しております。つきましては、今年度も受賞候補者の積極的なご推薦を募ります。

過去の受賞者一覧は学会HPに掲載しています。

推薦提出書類

業績賞、実施賞、普及賞、研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞：各規程推薦状フォーム

<http://www.orsj.or.jp/whatisor/award7.html>

*論文賞の推薦はありません。

推薦締切日

1. 業績賞、実施賞、普及賞：2018年11月30日
2. 研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞：2019年1月31日
3. 学生論文賞：2019年3月31日

推薦書送付先：OR学会事務局宛

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

詳細は<http://www.orsj.or.jp/whatisor/award7.html>をご覧ください。

〔業績賞〕

ORの研究・教育・実施などにかかわる活動に顕著な業績を挙げた個人に対して贈られます。ただし被推薦者は、原則として応募締め切り時に満40歳以上、満65歳以下の学会員であることが必要です。毎年1名程度を表彰する予定です。(副賞金30万円/1名)

*2017年度より業績賞被推薦者は「60歳以下」から「65歳以下」に変更されました。

*2018年度より副賞金は「10万円」から「30万円」に変更されました。

〔実施賞〕

ORの強力な実施・推進に対して贈られます。毎年2件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

〔普及賞〕

ORの普及への大きな貢献に対して贈られます。毎年2件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

〔研究賞〕

昭和43年(1968年)に創設された大西記念文献賞、およびそれを継承した文献賞を受け継ぎ、2011年度から設けられた本学会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす個人に贈られます。1. 本学会員であること。2. 独創性と将来性に富み、ORの発展に寄与する研究業績を挙げていること。授賞対象とする研究業績は過去5年以内のものとし、毎年1名程度を表彰する予定です。(副賞金50万円/1名)

〔研究賞奨励賞〕

若手研究者個人を対象とする賞です。上の研究賞の条件に加えて被推薦者の年齢に関して次の条件があります。被推薦者は、原則として応募締め切り時に満35歳以下であること。ただし、OR研究歴が短い方は、この年齢制限を超えていても構いません。授賞対象とする研究業績は過去3年以内のものとし、毎年4名程度を表彰する予定です。(副賞金20万円/1名)

〔事例研究賞〕

ORの優れた事例研究に対して贈られます。毎年3件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

〔論文賞〕

2010年度より設けられた新しい賞です。過去1年間に本学会論文誌に掲載された論文のうち、特に優れたもの1編に贈られます。授賞論文の著者すべて(非会員が含まれる場合も全員)を表彰します。なお、論文賞の推薦は募りません。(副賞金30万円/1件)

〔学生論文賞〕

学生によるORに関する優れた研究に対して贈られるものです。対象は、来春提出される学部卒の卒業論文、または大学院の修士論文とします。毎年5編程度を表彰する予定です。学生・指導教員がともに本学会員であることが必要です。詳しい募集要項は、OR誌2月号に掲載します。

● 2019年春季シンポジウム

日 程：2019年3月13日(水)
場 所：千葉工業大学 津田沼キャンパス
実行委員長：井上明也（千葉工業大学）

● 2019年春季研究発表会

日 程：2019年3月14日(木)～15日(金)
場 所：千葉工業大学 津田沼キャンパス
実行委員長：井上明也（千葉工業大学）

● 2018年度関西シンポジウム

テーマ：「ビッグデータ研究とは何か」
日 時：2018年11月17日(土) 13:00～17:30 (予定)
(シンポジウム終了後、18:00～20:00に懇親会を予定)
会 場：一般社団法人中央電気倶楽部 215号会議室
<http://www.chuodenki-club.or.jp/>
〒530-0044 大阪市北区堂島浜2-1-25

講演者：

宇野毅明（国立情報学研究所）
江頭瑠威（(株)電通）
竹内 孝（NTTコミュニケーション科学基礎研究所）
徳山 豪（東北大学）
平手勇宇（楽天技術研究所）

● 研究部会・グループ開催案内

〔危機管理と防衛のOR〕

・第14回

日 時：2018年10月26日(金) 15:00～18:00
場 所：政策研究大学院大学研究会室4A
(東京都港区六本木7-22-1)

テーマと講師：

- (1)「広域医療搬送の経緯と必要性」
山田憲彦（防衛医科大学校）
- (2)「重症患者搬送の現状と課題」
山口大介（航空自衛隊航空機動衛生隊）

問合せ先：片山隆仁（一般財団法人防衛技術協会）
E-mail: katayama@ksj.biglobe.ne.jp

● 新宿OR研究会

〔第382回〕

日 時：2018年10月16日(火) 12:00～14:00
講 師：野末尚次氏（(株)数理モデリング研究所）

テーマ：「OR理論の実用問題への適用：緩和問題として利用する implicit enumeration アプローチ」

場 所：OR学会事務局会議室
(千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F)
<http://www.orsj.or.jp/members/inquiry2.html>

参加費：2,000円（昼食代を含みます。事前にメールにてお申し込みください。）

詳 細：<http://www.orsj.or.jp/activity/others.html>

問合せ先：日本OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

〔第383回〕

日 時：2018年11月20日(火) 12:00～14:00
講 師：荒井武彦（足利大学工学部システム情報分野）
テーマ：「小惑星探査機はやぶさ2の科学データ解析」
その他、上記と同じ（場所は事務局）

〔第384回〕

日 時：2019年1月15日(火) 12:00～14:00
講 師：柳内延也氏（東海物産(株)）
テーマ：「活性酸素消去食品（仮）」
その他、上記と同じ（場所は事務局）

〔第385回〕

日 時：2019年2月19日(火) 12:00～14:00
講 師：山田修一氏（NECネットエスアイ(株)）
テーマ：「プロジェクトマネジメントスタイル最適化アプローチとOR理論の応用」
その他、上記と同じ（場所は事務局）

● 他学協会協賛案内

* OR学会が、共催・協賛・後援する大会やシンポジウムの情報です。参加費など、詳しくは主催学会にお問い合わせください。

・一般社団法人経営情報学会 2018年秋季全国研究発表大会

日 程：2018年10月20日(土)～21日(日)
場 所：近畿大学 東大阪キャンパス

主 催：一般社団法人経営情報学会

協賛学会参加費：経営情報学会会員価格に準ずる

WEB：http://www.jasmin.jp/activity/zenkoku_taikai/2018_fall/

● 研究助成案内

* 詳細は、各財団のWEBおよび、OR学会WEBの「助成案内」をご覧ください。

・鹿島学術振興財団 2018年度研究助成

研究対象者：

- (1) 都市・居住環境の向上
 - (2) 国土・資源の有効利用
 - (3) 防災・危機管理の推進
 - (4) 文化的遺産・自然環境の保全
- 以上の分野での研究者または研究グループ

助成金額と期間：

- (1) 1件あたりの助成金は、継続期間（2年目）の分も含めて合計300万円以内とする。
- (2) 助成期間は2年間まで。

使途：研究に必要な設備備品費，消耗品費，謝金，旅費，印刷製本費等

募集期間：2018年7月1日(日)～11月10日(土)

推薦：希望者には、OR学会より推薦書をお出しします。

OR学会推薦締切：2018年10月10日(水)

推薦希望問合せ先：OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

* 詳しくは、<http://www.kajima-f.or.jp/promotion/paper.html>をご覧ください。

● 会員著書情報

書 名：議席配分の数理論一選挙制度に潜む
200年の数学一

著 者：一森哲男

出 版 社：近代科学社

発 売 日：2018年5月1日

定 価：2,600円＋税

I S B N：978-4-7649-0564-1

第30回RAMPシンポジウム

RAMPシンポジウムは、日本オペレーションズ・リサーチ学会の数理計画研究部会（RAMP: Research Association of Mathematical Programming）によって年一度開催される、最適化・数理計画に関するシンポジウムです。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

日程：2018年10月10日（水）、11日（木）
会場：広島国際会議場
RAMP主査：土谷 隆（政策研究大学院大学）
実行委員長：土肥 正（広島大学）
プログラム委員長：岡本吉央（電気通信大学）

参加申込：ウェブページ<http://www.orsj.or.jp/ramp/2018/register.html>にてお受けしております。

【プログラム】 ※題目等の詳細はウェブページ<http://www.orsj.or.jp/ramp/2018/program.html>にてご覧になれます。

10月10日（水）

受付 9:20～ 開会の挨拶 9:50～10:00

1. **「暗号理論と数理最適化」** 10:00～13:00 オーガナイザー：河内亮周（大阪大学）
藤堂洋介（NTTセキュアプラットフォーム研究所）、Chen-Mou Cheng（大阪大学）、高安 敦（東京大学）
〈昼食 13:00～14:15〉
2. **「特別講演1」** 14:15～15:15 オーガナイザー：岡本吉央（電気通信大学）
Jesus De Loera 氏 (University of California Davis)
3. **「金融工学とコーポレートファイナンス」** 15:30～18:30 オーガナイザー：木島正明（広島大学）
室町幸雄（首都大学東京）、山崎和俊（関西大学）、鈴木輝好（北海道大学）
〈懇親会 19:00～（予定）〉

10月11日（木）

受付 9:00～

4. **「確率的情報処理と情報統計力学の最前線」** 9:30～12:30 オーガナイザー：安田宗樹（山形大学）
小渕智之（東京工業大学）、唐木田 亮（産業技術総合研究所）、徳田 悟（産業技術総合研究所）、高橋 茶子（東北大学）
〈昼食 12:30～13:30〉
5. **「特別講演2」** 13:30～14:30 オーガナイザー：岡本吉央（電気通信大学）
László Véghe 氏 (London School of Economics and Politics)
6. **「離散最適化の理論とアルゴリズム」** 14:45～17:45 オーガナイザー：塩浦昭義（東京工業大学）
岡本吉央（電気通信大学）、高澤兼二郎（法政大学）、柳浦睦憲（名古屋大学）
閉会の挨拶 17:45～

RAMP2018HP：<http://www.orsj.or.jp/ramp/2018/index.html>

数理計画（RAMP）研究部会HP：<http://www.orsj.or.jp/ramp/index.html>

4部会合同研究会 ～確率モデルの新展開～

主催：4研究部会「確率モデルとその応用」，「システム信頼性」，「待ち行列」，「不確実性環境下の意思決定モデリング」

実行委員長：笠原正治（奈良先端科学技術大学院大学）

実行委員：木村光宏（法政大学），北條仁志（大阪府立大学），堀口正之（神奈川大学），来島愛子（上智大学），吉良知文（群馬大学），田村信幸（法政大学），田村慶信（東京都市大学），中西真悟（大阪工業大学），フンドック トゥアン（筑波大学）

日時：2018年10月13日（土） 研究会：12：30～19：00（情報交換会：17：45～19：00）

会場：東京工業大学大岡山キャンパス 〒152-8552 東京都目黒区大岡山2-12-1

（研究会場：大岡山キャンパス 西8号館E棟10階大会議室）

<https://www.titech.ac.jp/maps/ookayama/ookayama.html>

（情報交換会場：未定（研究会会場の近くの予定））

電車でお越しの場合：大岡山駅から徒歩約5分

プログラム（講演題目，敬称略）：

12：30～12：35 **開会挨拶** 笠原正治（奈良先端科学技術大学院大学）

12：35～14：15 **セッション1**（座長：木村光宏（法政大学））

講演者1：井上文彰（大阪大学）

講演題目：Age of Information（AoI）と待ち行列モデル

講演者2：清水敏久（首都大学東京）

講演題目：パワーコンバータとCANの電磁環境両立手法

14：15～14：30 **休憩**

14：30～16：10 **セッション2**（座長：北條仁志（大阪府立大学））

講演者3：堀口正之（神奈川大学）

講演題目：マルコフ決定過程での推移法則の推定について

講演者4：宝崎隆祐（防衛大学校）

講演題目：ネットワーク阻止ゲームの1モデルにおける情報価値の体系的分析

16：10～16：25 **休憩**

16：25～17：25 **招待講演**（座長：笠原正治（奈良先端科学技術大学院大学））

招待講演者：宮沢政清（東京理科大学）

講演題目：待ち行列モデルの漸近解析：標本路方程式の活用

17：25～17：30 **閉会挨拶** 堀田正之（神奈川大学）

17：45～19：00 **情報交換会**

懇親会：19：30から開催

会場：未定

問い合わせ先：「待ち行列」研究部会

主査：笠原正治（奈良先端科学技術大学院大学） 幹事：フンドック トゥアン（筑波大学）

研究部会ホームページ：<http://www.orsj.or.jp/queue/>

2018年度第2回 ORセミナー 『量子コンピュータ・次世代アーキテクチャの活用』

開催趣旨：近年、ビジネス界において注目が集まる「量子コンピュータ」や、同じく高速処理を指向した次世代アーキテクチャの活用に向けたセミナーを開催します。本セミナーでは、ハードウェアの仕組みや、多様な業界分野における適用事例についてご紹介します。

日時：2018年11月9日(金) 10:00~16:00

会場：(株)NTTデータ 豊洲センタービル21階

〒135-6033 東京都江東区豊洲3-3-3 豊洲センタービル21F

東京メトロ有楽町線「豊洲」駅 3番出口徒歩約1分

<http://www.nttdata.com/jp/ja/corporate/profile/guide/map.html>

コーディネーター：(株)NTTデータ 中川慶一郎

司会：(株)NTTデータ 矢実貴志

定員：80名(定員になり次第締め切らせていただきます。)

プログラム：(敬称略, タイトルは仮題)

10:00~10:10 **開会挨拶** (株)NTTデータ 中川慶一郎

10:10~11:10 **セッション1「量子コンピュータ入門」** 講師：(一社)Quantum Research Institute 藤井啓祐

11:20~12:20 **セッション2「万能量子コンピュータの商用化動向」** 日本IBM(株) 小野寺民也

13:20~14:20 **セッション3「CMOSアニーリングマシンの概要」** (株)日立製作所 山岡雅直

14:30~15:30 **セッション4「デジタルアニーラとその応用例の紹介」** (株)富士通研究所 大輪拓也

15:30~15:40 **閉会挨拶** (株)富士通研究所 松本和宏

参加費(テキスト代込)：正・賛助会員(協賛学会員を含む)5,000円、学生会員1,000円、学生非会員1,500円、非会員20,000円。

※当日欠席された場合、参加費の返金はありません。後日テキストを郵送します。

ORセミナー参加者特典：正会員でない賛助会員/非会員/学生非会員は、入会金無料で入会でき(それぞれ正会員/学生会員となる)、2018年度の年会費は免除されます。ご希望の方は、参加申込みメールに「ORセミナー参加者特典」利用による入会希望とお書き添えいただくとともに、学会webより入会手続きをしてください。

申込方法：日本OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

(お名前, ご所属先, 正会員/学生会員/賛助会員/協賛学会員/非会員, お支払予定日を記入してメールにてお申込みください。)

申込・振込み締切：2018年10月29日(月)

振込先：みずほ銀行 根津支店(店番号235) 普通1530801 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

協賛学会(正会員と参加費同額)・依頼中：日本経営工学会(JIMA), 日本品質管理学会(JSQC), 日本信頼性学会(REAJ), 研究・イノベーション学会(JSRPIM), 日本設備管理学会(SOPE-J), 経営情報学会(JASMIN), プロジェクトマネジメント学会(SPM)

詳細は、OR学会WEB <http://www.orsj.or.jp/activity/seminar.html>をご参照ください。

2019年度「研究者海外研修支援事業」派遣者募集要項

国際委員会

日本オペレーションズ・リサーチ学会では前年度に引き続き、標記支援事業を募集します。応募要件を少し緩めましたので、ふるってご応募ください。

【概要】

- ・海外の研究拠点に長期滞在経験のないOR研究者が、海外のOR研究拠点に中長期間滞在し共同研究活動を開始するための助成を行います。
- ・単発の国際会議発表に対する助成ではありません。

【背景と目的】

オペレーションズ・リサーチ（OR）の方法論に対する探求は、研究活動を国際的に展開することで一層の発展が期待できます。その上で国際的な研究ネットワークに入り込んでいくことが必要になりますが、そのためには少なくとも1ヶ月以上といった一定期間海外の研究拠点に滞在し、海外の研究者と直接的に知り合い共同研究に繋げるなど、継続的に交流するきっかけを持つことが重要です。また、とりわけ日本国内で博士号を取得した後数年間は、自らのテーマを確立していく上で難しい期間となる傾向があり、視野を広げる上でも国際的な舞台に出て共同研究者を見つけることは有効な手段となりえます。

そのような状況を念頭におき、本事業は、これまで海外のOR研究機関に滞在した経験のないORの研究者に対し、海外での共同研究拠点を築き国際的な研究者ネットワークに入り込んでいくための支援を行うことを目的とします。

本事業がこれまでの支援事業と異なるのは、国際会議などで単発の研究発表などを行うための資金援助ではなく、有望な研究者が1ヶ月程度以上、ORあるいはそれに関連する海外の研究拠点に滞在し、国際的な人的ネットワーク構築する活動を支援する点にあります。

このような人的なネットワークは、助成対象者個人にとって資するばかりでなく、長期的には学会全体の国際的交流の幅の拡大に資するものと期待しています。また有望な人材を選抜し海外に送り出すことは、日本のORの存在感を高めることにも繋がると期待しています。

【募集概要】

以下の要領で支援対象者の募集を行います。

募集定員：2名

支援内容：1名につき50万円支給

研修期間：2019年度中の開始（出発日が2020年2月末日以前）で、出発日から帰国日までが4週間以上

募集締切：2018年11月30日（金）

（12月下旬に審査結果を連絡予定）

応募方法：【申請書類】の項の内容を記した電子ファイルを電子メール添付にて事務局（jimukyoku@orsj.or.jp）宛てに送付（題目は「OR学会海外研修支援応募」としてください）

応募要件：

- ・上記研修期間に海外のORおよび関連分野の拠点機関に滞在し、ORに関する共同研究活動に専念する意思があること

- ・応募時点で博士号を取得済みであること
- ・これまで海外の研究拠点におよそ4週間以上滞在して共同研究を行った経験がない、かつ、他の類似予算（在外研究予算など）を受けていないこと
- ・渡航前までにある程度英語でのコミュニケーションを担保できること

この他、研修期間終了後、航空券の領収書などの提出、OR学会機関誌上での体験記の寄稿、（この援助により始めた（共同）研究について）研究口頭・論文発表での援助の明記、研究口頭発表での学会ロゴの使用を派遣対象者の要件とします。

【申請書類】

応募する場合は以下の項目を記入した申請書電子ファイルを、学会事務局まで電子メール添付で提出してください。申請に基づき国際委員会で審査します。選抜に際し応募者の共同研究実行可能性と将来性を重視します。申請時点での受け入れ先の内諾は必ずしも要しません。

- ・申請者情報（氏名、所属、電子メールアドレス、会員番号（OR学会員のみ記載））
- ・滞在計画（希望する派遣先研究機関、受入研究者、おおよその滞在期間等）
- ・滞在中の達成目標（滞在中に目指すこと）および準備状況
- ・研究業績一覧（発表論文、国際会議・国内会議発表等。査読有無についても記すこと）
- ・英語のコミュニケーション能力に関する情報、国際会議参加経験、海外研究者との共同研究の経験など
- ・参照人の連絡先（氏名、所属、電子メールアドレス（または電話番号））
- ・応募要件を満たしていることの確認
- ・[参考情報] 交渉状況（滞在予定先との関係・受け入れ内諾など）

※応募時点での受け入れ内諾は応募の際の要件ではなく、あくまでも参考情報です。

なお、学会ウェブサイトより申請書の雛形ファイル（Microsoft Word docx ファイル）が利用可能です。

【FAQ】

- ・他の研究費予算との合算は可能ですか？
もしその予算が在外費用補助を目的とする場合、不可能です。本事業は、国際的な共同研究機会の少ない研究者に新たな海外研修の機会を提供することを目的としているので、同様の目的の資金を得ている方を対象としません。一方で他の外部予算（たとえば科研費など）が認める場合で、かつ、合算して利用する予定の場合には、申請書にその概要（期間の分割計画など）を記載してください。
- ・複数の機関に滞在することも可能ですか？
少なくとも1機関に2週間以上滞在する場合には認めます。ただし、支給額に変更はありません。
- ・応募に際し、滞在を希望する機関、あるいは、ホスト（受け入れ教員など）の事前の受け入れ承認は必要ですか？
必須ではありません。ただし、もしその当てがある場合には「参考情報」として申請書にそれを記載してください。

2019年度年会費納入のお願い

2019年度（2019年3月1日～2020年2月29日）年会費の請求書を11月に発送します。このうちよの支払取扱票は、2019年1月以降もご使用可能です。

大学または、会社宛の請求書が必要な場合は、以下をメールにて事務局にお知らせください（会員氏名、請求金額、請求書宛名（個人名/法人名/法人名+個人名）請求書の日付指定の有無、様式の指定…請求書/見積書/納品書、指定用紙など）。

OR学会の事業年度は3月～翌年2月までです。

年会費専用振込み口座

みずほ銀行 根津支店（店番号235）普通1124744
口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会
シヤ）ニホンオペレーションズリサーチ
ガツカイ

郵便振替口座 00190-6-79492
口座名：公社）日本オペレーションズリサーチ学会

ゆうちょ銀行 ○一九（ゼロイチキユウ）（店番号019）
当座 0079492
口座名：公社）日本オペレーションズリサーチ学会

年会費（不課税） 正会員14,400円
学生会員5,000円
シニア会員7,200円
*手数料は払込人様ご負担をお願いします。
*お名前はフルネームでお書きください。

シニア会員について

正会員のうち、20年以上正会員を継続し、会費を完納している60歳以上であり、定常収入を有しない方は、理事会の承認によりシニア会員になることができます。申請/承認後、翌年度よりシニア会員となります。シニア会員の会費は7,200円です。

特別会員について

正会員のうち、身体障害者手帳をお持ちの方は、その手帳の写しを事務局に提示していただくことにより、特別会員として年会費半額の免除制度があります。申請/承認後、翌年度より特別会員となります。特別会員の会費は7,200円です。

年会費の口座振替（正会員）

年会費自動振替の方は2019年1月22日に「2019年度年会費」を引き落とし予定です。口座振替の中止や振替口座変更をご希望の場合は、11月末日までに事務局にメールでお知らせください。

2019年3月ご卒業の学生会員の方へ

- 1) **ご就職により正会員として会員継続希望の方へ**
新所属先（郵便番号、住所、所属機関、所属部署、電話番号、メールアドレス）、新自宅住所、連絡先メールアドレス（所属先/自宅）および、OR誌送付先（所属先/自宅）を事務局にお知らせください。
2019年度の会費はそのままです。2019年11月に2020年度正会員年会費14,400円の請求書を発送いたします。
- 2) **退会希望の方へ**
退会理由（卒業、大学院修了等）を書いて、退会届のメールを事務局に送ってください。

学生会員年会費無料化キャンペーン

- OR学会では学会活性化の一環として、2013年度から開始した「学生会員年会費無料化キャンペーン」を継続中です。
- 1) 学生新入会希望で、かつ指導教員が正会員の方は、学生会員年会費5,000円は無料となり、入会金600円でご入会できます。
- ①WEBからの入会申込み
 - ②入会金600円のお振込み
 - ③指導教員様からの応募メール（「指導教員様のお名前、ご所属、学生の方のお名前、ご所属、メールアドレス」）
- 以上3点をもって、無料化受付が完了します。
- 2) 学生新入会希望で、指導教員様が非会員の場合は、「学生会員年会費無料化キャンペーン対象外」となり、通常の年会費5,000円が必要となりますので、ご注意ください。

OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5
サン・チカビル7F
TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055
*各種お届けは、メールにてご連絡ください。
（住所/所属先/メールアドレス/ OR誌送付先等の変更、退会届）
会員氏名と新旧の変更内容をお書きください。